

熊野白浜リゾート空港 滑走路延伸の検討結果について

◆事業可能性にかかる検討結果

- 整備については、現時点では技術的に可能と判断（住民の理解や関係者調整等は必要）
- 今後、利用者増に伴う国内線の大型化や様々な地域からの国際線受け入れに対応するためには、滑走路延伸が必要
- 将来需要として、羽田線などの利用者が年間55万人程度であれば、B/Cは1.2程度（整備効果が見込まれる）
（参考）国の補助事業採択においても、羽田線の年間50万人以上の利用が必要

◆今後の方針

- 国内線の利用者について、まずは毎年2万人ずつの利用者増を目指し、各種利用促進施策を実施していく
〔目標 5年後（2029年度）：30万人及び羽田線4往復8便化、滑走路延伸後：50万人〕
- 国際線については、将来的な定期便の就航を目指し、積極的にチャーター便を誘致していく
- 並行して、引き続き滑走路延伸にかかる検討を実施していく



◆2025年度の予定

就航率調査、運航空域調査を実施した上で、基本計画として、滑走路延伸方向、空港施設配置、航空保安施設、進入出発方式、工事費などを整理